部活動に関するアンケート調査結果

令和６年１１月 玖珠町教育委員会

部活動に関するアンケート調査について

１．概要

部活動に関する現状や課題を正確に把握するとともに、児童生徒、保護者、教員の意見を反映し、より良い施策の実施につなげるため、下記のとおり、アンケート調査を実施した。

２．対象者

区分	対象者	回答数
児童生徒	中学生	回答数：276　対象者数：344　回答率：80%
	小学５年、６年生	回答数：148　対象者数：194　回答率：76%
保護者	中学生の保護者	回答数：283　対象者数：不明　回答率：ー%
	小学５年、６年生の保護者	回答数：131　対象者数：不明　回答率：ー%
教員	中学校教員（部活動担当教員のみ）	回答数：23　対象者数：25　回答率：92%
	小学校教員	回答数：69　対象者数：67　回答率：102%

３．回答期間・方法

期間：令和６年７月１７日 ～ ８月５日
方法：インターネットから回答するフォームによる

調査結果概要①

１．児童生徒・保護者の状況

①活動への参加状況
・中学生の９割が部活動やクラブなどに参加。部活動のみは４割強。部活動とクラブなどどちらにも参加は３割。
・小学５・６年生の７割弱がクラブなどに参加。

②取り組んでいる種目
・中学生では、部活動のある種目の参加率が高まる（ソフトボール、バレーボール、卓球、吹奏楽など）。
・小学５・６年生では、部活動にない種目の参加率も高い（ダンス、ラグビー、水泳、伝統芸能など）。

③取り組んでみたい種目
・中学生、小学５・６年生ともに、部活動にない種目も含め幅広く選択。
・特に小学５・６年生において、多様な種目を選択する傾向が高い。

④複数種目に取り組む希望
・中学生は６割弱、小学５・６年生は４割強が複数種目に同時に取り組んでみたいと選択。

⑤部活動・クラブなどの悩み
・部活動・クラブいずれも「休日の少なさ」「勉強や遊びとの両立」と「思うほど上達しない」が多い。
・部活動・クラブいずれも回答傾向に大きな差はないが、クラブは「移動が大変」と答える者が多い。

⑥活動日数・時間について
・中学生・小中保護者ともに、活動時間の理想は平日２時間、休日３時間であり、実際の部活動の活動時間と大きな差はない（小学生は休日1.8時間を理想と回答）
・児童生徒・保護者ともに、週活動日数の理想は約４日、実際の部活動の活動時間は約５日。

⑦費用について
・部活動にかかっている費用は約1500円/月、クラブにかかっている費用は約2000円～2500円/月。
・部活動が地域移行した場合、妥当だと思う費用負担は約2500～3000円/月。

調査結果概要②

２．部活動やクラブの活動を行う目的

・児童生徒、保護者、教員いずれも「体力・技術を向上させるため」が上位にある。
・児童生徒では「大会・コンクール等で良い成績を残すため」が上位にある。
・保護者、教員では「チームワークや仲間と協力することを味わうため」が上位にある。

３．教員の状況

①担当状況・競技経験有無

・担当状況は、６割弱が顧問、４割強が副顧問を担当。
・担当する部活動の自身の競技・活動経験は、経験あり・なしが、およそ半々。

②部活動担当希望・部活動負担

・部活動の担当希望について、「希望しない」等が６割強、「希望する」等が３割強。
・部活動の業務負担について、「負担に感じる」等が９割強。

③部活動負担の理由

・９割以上が「休日の部活動指導や大会引率をすること」「帰宅時間が遅くなること」と回答。
・次いで、「教材研究など他の業務の時間が無くなる」、「部活動運営にかかる事務処理」と回答。

調査結果概要③

４．部活動地域移行について

①部活動地域移行の賛否

・保護者、教員いずれも、８割以上が「賛成・どちらかというと賛成」と回答。

②部活動地域移行の形

・小中教員ともに、約８割が「平日・休日の部活動すべて地域クラブ等に移行すべき」と回答

③部活動地域移行への期待

・保護者では、「専門的な指導が受けられること」が最も多い。（次いで、「教員の負担が軽減されること」）
・教員では、「教員の負担が軽減されること」が最も多い。（次いで、「専門的な指導が受けられること」）

④部活動地域移行への心配

・保護者では、「活動場所までの移動」が最も多い。（次いで、「指導者の確保・資質」）
・教員では、「指導者の確保・資質」が最も多い。（次いで、「家庭による活動費用の負担」）

⑤兼職兼業による指導希望

・兼職兼業による指導を希望する者は、小学校教員で２割強、中学校教員で３割強。
・兼職兼業によって指導を希望する場合、理想の週活動日数は、約３日前後。

1． 参加者と保護者の状況について　①活動への参加状況

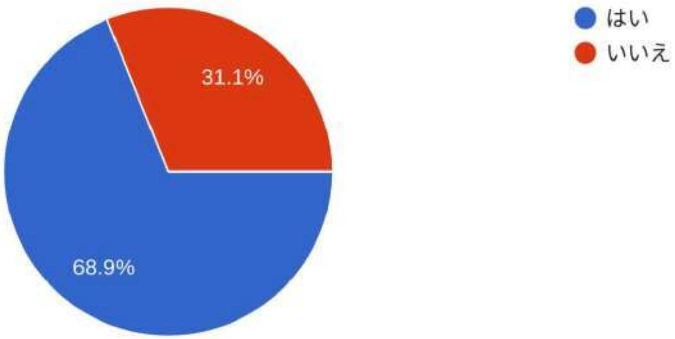
〇中学生の９割が部活動やクラブなどに参加。部活動のみは４割強。どちらにも参加は３割。
〇小学５・６年生の７割弱がクラブなどに参加。

〇中学生

1．現在の部活動またはスポーツクラブ・習い事への参加状況についてお答えください。
276 件の回答

〇小５・６

1．今、スポーツクラブや習い事に参加していますか。
148 件の回答

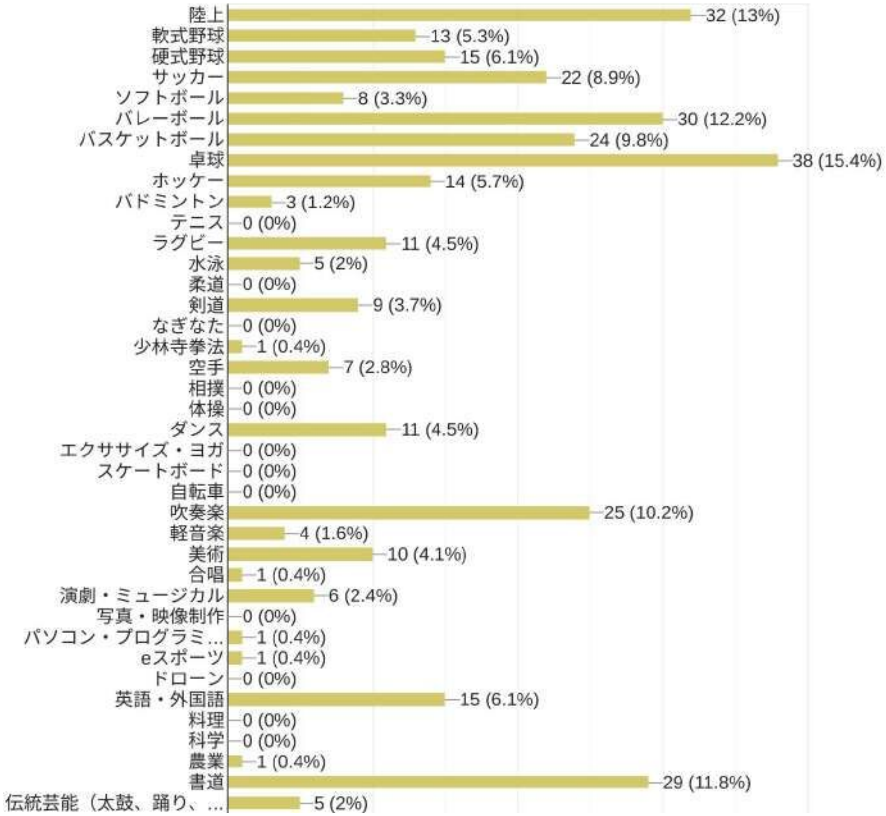


1．児童生徒と保護者の状況について　②取り組んでいる種目

○中学生では、部活動のある種目の参加率が高まる（ソフトボール、バレーボール、卓球、吹奏楽など）。
○小学５・６年生では、部活動にない種目の参加率も高い（ダンス、ラグビー、水泳、伝統芸能など）。

○中学生

2．部活動またはスポーツクラブ・習い事に参加し...種目を選んでください。【いくつ選んでも良い】
246 件の回答



（その他）ピアノ、習字、キックボクシング、手話、ベース

○小５・６

2．「はい」を選んだ場合、今、スポーツクラブや...種目を選んでください。【いくつ選んでも良い】
103 件の回答

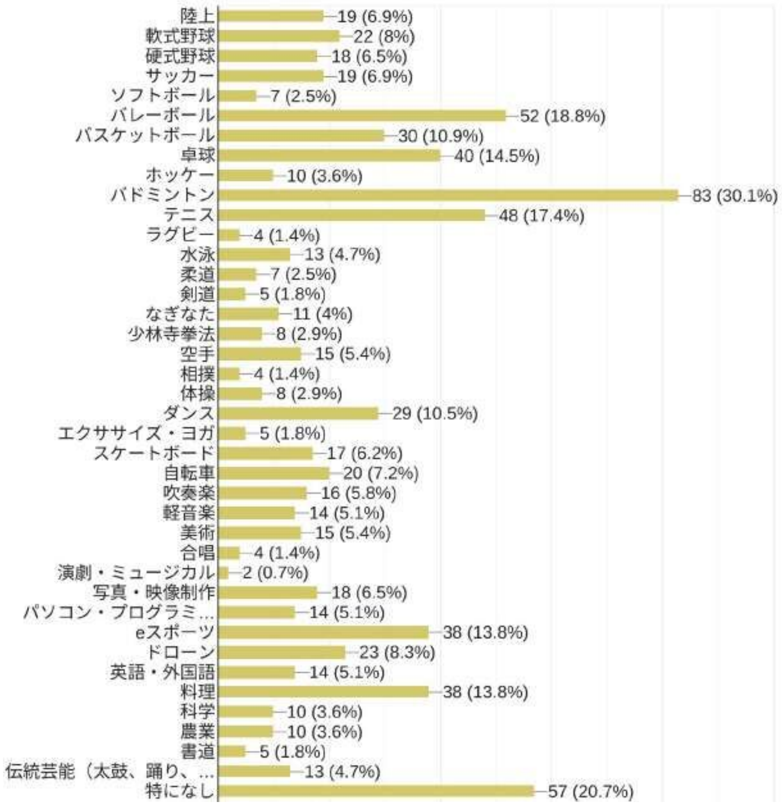
（その他）ピアノ、習字

1．児童生徒と保護者の状況について　③取り組んでみたい種目

〇中学生、小学５・６年生ともに、部活動にない種目も含め幅広く選択。
〇特に小学５・６年生において、多様な種目を選択する傾向が高い。

〇中学生

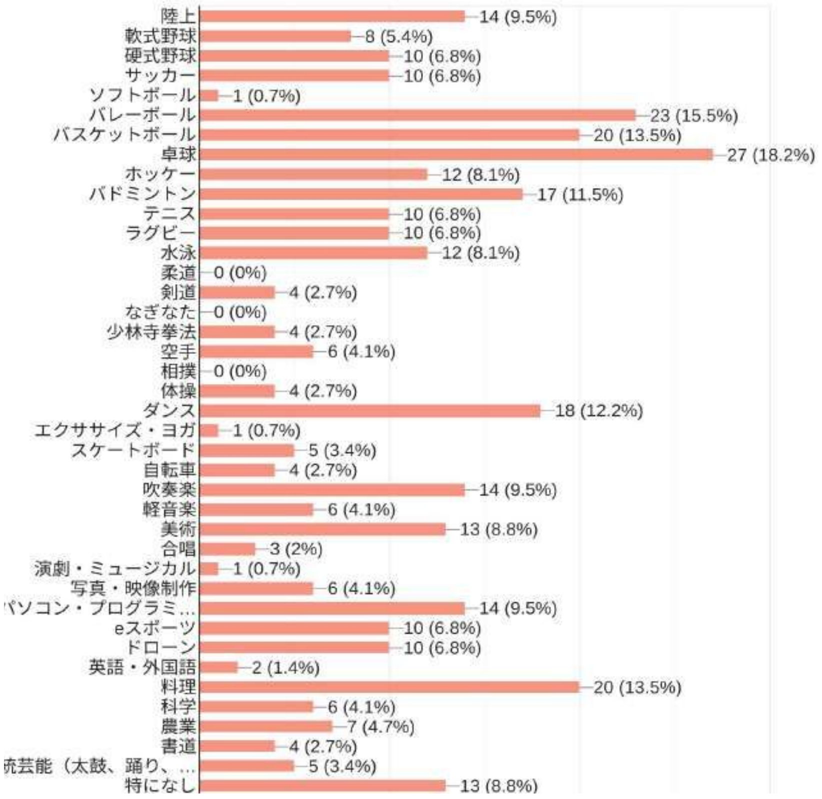
3．現在、行っている種目以外に、やってみたいと思う種目があれば選んでください。
276 件の回答



（その他）弓道、アーチェリー、鉄道同好会、手話、ヴァイオリン、ピアノ

〇小５・６

3．中学生になったら、どんな種目の活動をしてみたいと思いますか。【いくつ選んでも良い】
148 件の回答



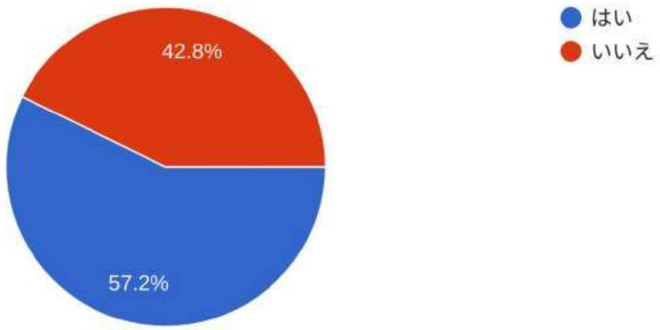
（その他）ピアノ

1．児童生徒と保護者の状況について　④複数種目に取り組む希望

〇中学生は６割弱、小学５・６年生は４割強が「はい」と選択。
〇中学生の方が複数取り組んでみたいと答える割合が高い。

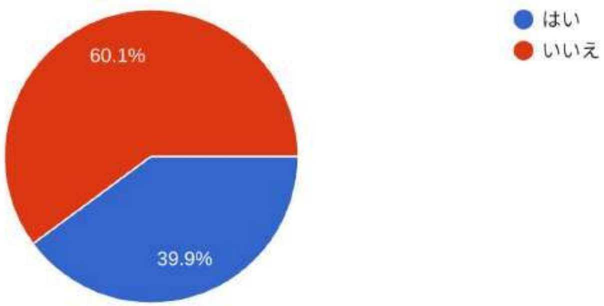
〇中学生

４．もし、一つの種目だけではなく、いくつかの種目を同時にできるとしたらやってみたいですか。
276 件の回答



〇小５・６

４．もし、一つの種目だけではなく、いくつかの種目を同時にできるとしたらやってみたいですか。
148 件の回答



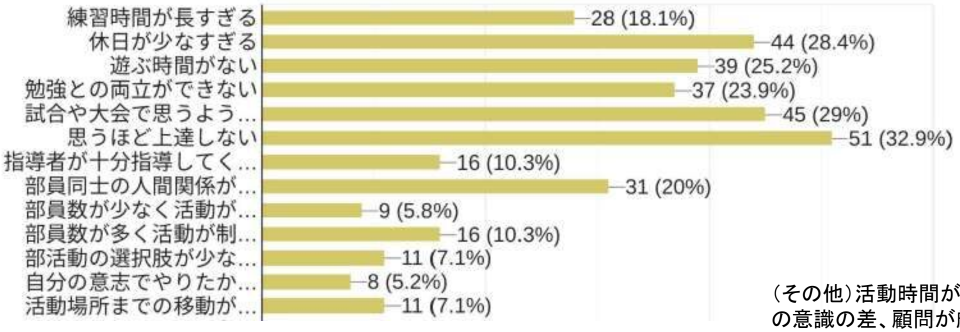
1．児童生徒と保護者の状況について　⑤部活動・クラブなどの悩み

○いずれも「休日の少なさ」「勉強や遊びとの両立」と「思うほど上達しない」が多い。
○いずれも回答傾向に大きな差はないが、クラブは「移動が大変」と答える者が多い。

○中学生

部活動

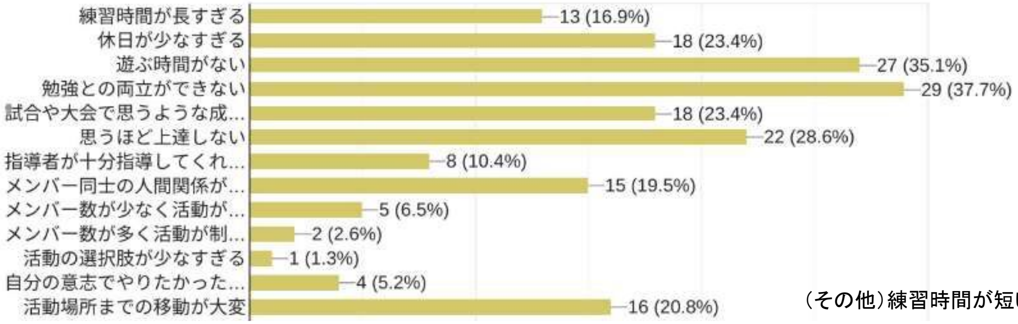
6．部活動に参加している人に聞きます。
部活動について悩みがあれば教えてください。【いくつ選んでも良い】
155 件の回答



（その他）活動時間が短い、休憩時間が短い、部員男女比、部員間の意識の差、顧問が厳しい、楽しくない

クラブ

7．
スポーツクラブ・習い事に参加している人に聞きま…あれば教えてください。【いくつ選んでも良い】
77 件の回答



（その他）練習時間が短い

１．児童生徒と保護者の状況について　⑥活動日数・時間について

〇中学生・小中保護者ともに、活動時間の理想は平日約２時間、休日約３時間であり、実際の部活動の活動時間と大きな差はない（小学生は休日1.8時間を理想と回答）
〇児童生徒・保護者ともに、週活動時間の理想は約４日、実際の部活動の活動時間は約５日。

※数字は平均値

回答者	現状				理想		
	種別	週活動日数	活動時間（平日）	活動時間（休日）	週活動日数	活動時間（平日）	活動時間（休日）
小学５・６年生	クラブ	3.1日	1.9時間	2.1時間	4.2日	2.0時間	1.8時間
中学生	部活	5.0日	2.1時間	3.0時間	4.2日	2.1時間	2.7時間
	クラブ	2.8日	2.0時間	1.9時間			
保護者 小学５・６年生	クラブ	-	-	-	3.6日	2.4時間	2.7時間
保護者 中学生	部活 クラブ	-	-	-	4.1日	2.1時間	2.7時間

1．児童生徒と保護者の状況について　⑦費用について

○部活動にかかっている費用は約1500円/月、クラブにかかっている費用は約2000円～2500円/月。
○部活動が地域移行した場合、妥当だと思う費用右端は約2500～3000円/月。

※数字は平均値

回答者	種別	現状（月額）	地域移行した場合、妥当だと思う額（月額）
保護者 小学５・６年生	クラブ	2,621円	2,835円
保護者 中学生	部活動	1,490円	2,489円
	クラブ	2,000円	

２．部活動やクラブ活動等を行う目的

〇児童生徒、保護者、教員いずれも「体力・技術を向上させるため」が上位にある。
〇児童生徒では「大会・コンクール等で良い成績を残すため」が上位にある。
〇保護者、教員では「チームワークや仲間と協力することを味わうため」が上位にある。

	中学生	小学５・６年生
１位	体力・技術を向上させるため（53.3%）	体力・技術を向上させるため(44.9%)
２位	大会・コンクール等で良い成績を残すため(50.8%) 友達と楽しく活動するため(50.8%)	大会・コンクール等で良い成績を残すため(32.7%) 友達と楽しく活動するため(32.7%)
３位	チームワークや仲間と協力することを味わうため(37%)	将来、役に立つかもしれないから(30.8%)

	保護者中学生	保護者小学生
１位	体力・技術を向上させるため(73.9%)	体力・技術を向上させるため(73.3%) チームワークや仲間と協力することを味わうため(73.3%)
２位	チームワークや仲間と協力することを味わうため(71.7%)	色々な体験をさせてみたいから(60.3%)
３位	友達と楽しく活動してほしいから(59%)	友達と楽しく活動してほしいから(53.4%)

	教員中学校
１位	チームワークや仲間と協力することを味わうため(82.6%)
２位	体力・技術を向上させるため(78.3%)
３位	色々な体験をさせたいから(52.2%)

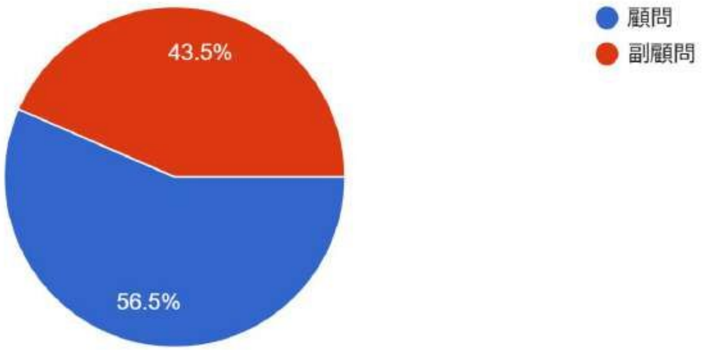
（選択肢一覧）
- 大会・コンクール等で良い成績を残すため
- チームワークや仲間と協力することを味わうため
- 体力・技術を向上させるため
- リフレッシュ・気分転換
- 友達と楽しく活動するため
- 色々な体験をするため
- 将来、役に立つかもしれないから
- 特に目的はない

３．教員の状況　①担当状況・競技経験有無

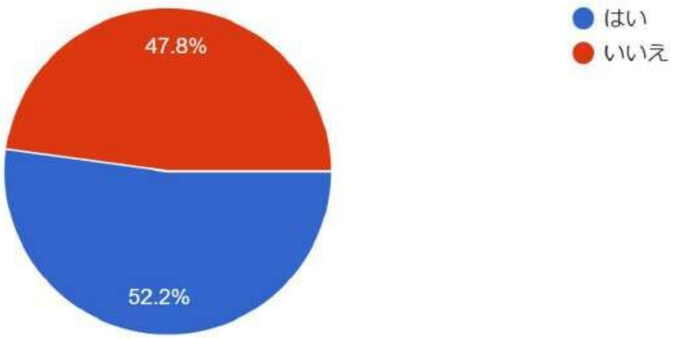
◯担当状況は、６割弱が顧問、４割強が副顧問を担当
◯担当する部活動の自身の競技・活動経験は、経験あり・なしが、およそ半々。

〇教員 中学校

１．あなたの部活動の担当状況を教えてください。
23 件の回答



２．あなたが担当する部活動の種目は、自身が過...一定期間の競技・活動経験がある部活動ですか。
23 件の回答

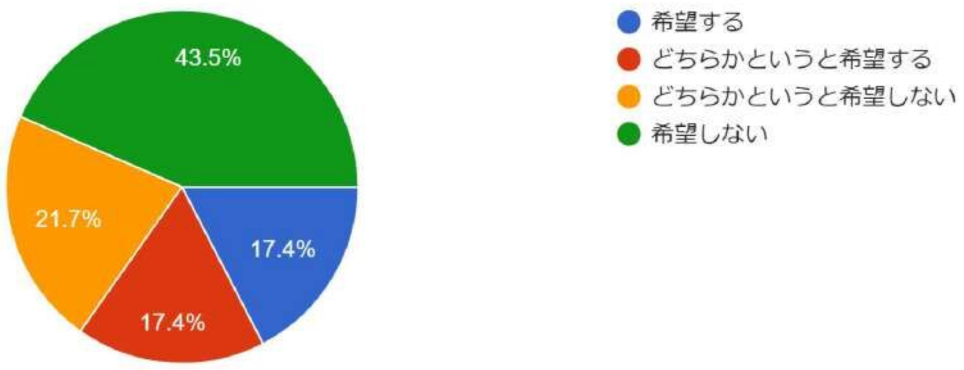


３．教員の状況　②部活動担当希望・部活動負担

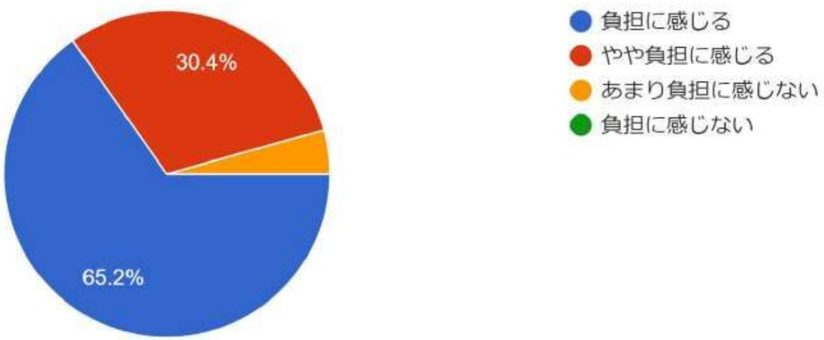
〇部活動の担当希望について、「希望しない」等が６割強、「希望する」等が３割強。
〇部活動の業務負担について、「負担に感じる」等が９割強。

〇教員 中学校

３．部活動の担当をするか、しないか自由に選択できるとしたら、担当することを希望し
23 件の回答



４．部活動を担当する上での業務負担について、もっとも当てはまるものを選んでください。
23 件の回答

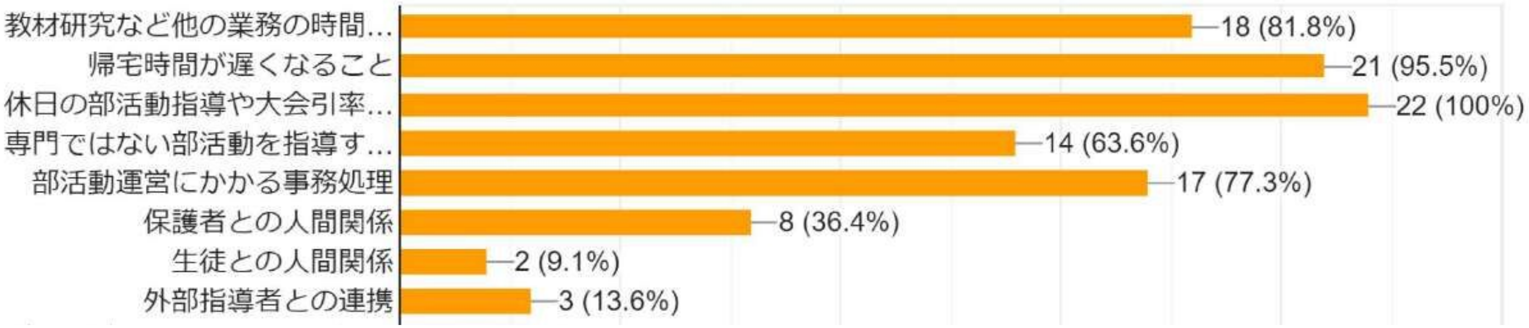


３．教員の状況　③部活動負担の理由

○９割以上が「休日の部活動指導や大会引率をすること」「帰宅時間が遅くなること」と回答。
○次いで、「教材研究など他の業務の時間が無くなる」、「部活動運営にかかる事務処理」と回答。

〇教員　中学校

5．「負担に感じる」「やや負担に感じる」と選んだ人に伺います。負担に感じる理由について当てはまるものを選んでください【複数選択可】
22 件の回答



（その他）顧問と副顧問の連携、金銭面の自己負担、生徒の熱意、ほぼボランティアであること

４．部活動地域移行について　①部活動地域移行の賛否

〇保護者、教員いずれも、８割以上が「賛成・どちらかというと賛成」と回答。

回答者	賛成・どちらかというと賛成	反対・どちらかというと反対
保護者 小学５・６年生	８１．７％	１８．４％
保護者 中学生	８２．３％	１９．３％
教員 小学校	９７．１％	２．９％
教員 中学校	８２．６％	１７．４％

4．部活動地域移行について　②部活動地域移行の形

〇小中教員ともに、約８割が「平日・休日の部活動すべて地域クラブ等に移行すべき」と回答。

〇教員 小学校

2．「部活動地域移行」について、どのような形で実施するのが最も適切だと思いますか

69 件の回答

〇教員 中学生

8．「部活動地域移行」について、どのような形で実施するのが最も適切だと思いますか。

23 件の回答

4．部活動地域移行について　③地域移行に期待すること

〇保護者では、「専門的な指導が受けられること」が最も多い。
〇教員では、「教員の負担が軽減されること」が最も多い。

	保護者中学生	保護者小学生
１位	専門的な指導が受けられること(73.3%)	専門的な指導が受けられること(69.5%)
２位	教員の負担が軽減されること(53.7%)	教員の負担が軽減されること(52.7%)
３位	地域や学校外の人とのつながりが生まれること(37.1%)	活動の選択肢が増えること(49.6%)

	教員中学校	教員小学校
１位	教員の負担が軽減されること(87%)	教員の負担が軽減されること(95.7%)
２位	専門的な指導を受けられること(78.3%)	専門的な指導を受けられること(75.4%)
３位	地域や学校外の人とのつながりが生まれること(52.2%)	活動の選択肢が増えること(43.5%)

(選択肢一覧)

- 子どもの活動の選択肢が増えること
- 子どもが専門的な指導を受けられること
- 子どもと地域や学校外の人とのつながりが生まれること
- 子どもが卒業後も継続した指導を受けられること
- 教員の負担が軽減されること
- 子どもの負担が軽減されること
- 特になし

4．部活動地域移行について　④地域移行に心配すること

〇保護者では、「活動場所までの移動」が最も多い。
〇教員では、「指導者の確保・資質」が最も多い。

	保護者中学生	保護者小学生
１位	活動場所までの移動(62.5%)	活動場所までの移動(64.1%)
２位	指導者の確保・資質(54.4%)	指導者の確保・資質(58%)
３位	活動費用の負担(53.4%)	活動費用の負担(51.9%)

	教員中学校	教員小学校
１位	指導者の確保・資質(78.3%)	指導者の確保・資質(78.3%)
２位	家庭による活動費用の負担(52.2%)	家庭による活動費用の負担(52.2%)
３位	子どもの活動場所までの移動(47.8%)	子どもの活動場所までの移動(47.8%)

（選択肢一覧）
- 子どもの活動場所までの移動
- 子どもの活動時間が遅くなること
- 家庭による活動費用の負担
- 家庭による活動運営への協力
- 大会やコンクール出場への影響
- クラブの運営体制
- 指導者の確保・資質
- 安全管理
- 子どもの進学・就職への影響
- 教員が部活動を通じた生徒指導ができなくなること
- 特になし

４．部活動地域移行について　⑤兼職兼業による指導希望

〇兼職兼業による指導を希望する者は、小学校教員で２割強、中学校教員で３割強。
〇兼職兼業によって指導を希望する場合、理想の週活動日数は、約３日前後。

回答者	そう思う・ どちらかというとそう思う	そう思わない・ どちらかというとそう思わない	兼職兼業による指導を希望する場合の週活動日数（平均）
教員 小学校	２３．１％	７６．８％	２．９日
教員 中学校	３４．７％	６５．２％	３．６日